

各位

2026年2月10日
KNT-CTホールディングス株式会社
総務CSR部：梅津、岩本
TEL：03-5325-8547

旅行取扱状況の概観（令和7年12月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリストブループラネット、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

国内旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比128.3%、学生団体は同82.9%、団体旅行合計では同98.4%となった。企画旅行については前年比102.9%となった。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比98.2%と前年度を下回った。

海外旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比59.3%、学生団体は同113.8%、団体旅行合計では同89.6%となった。企画旅行については前年比127.5%となった。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比106.2%と前年度を上回った。

訪日旅行は、前年比108.1%と前年度を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の12月の総取扱額は、前年比102.9%と前年度を上回った。

【区分別の状況】

1. 国内旅行

国内団体については、スポーツイベント関連や、企業の視察・研修・報奨旅行の取扱いが増加し、一般団体は128.3%と前年度を上回った。

学生団体は修学旅行の取り扱いが伸び悩み、学生団体旅行合計で82.9%と前年度を下回った。

国内企画旅行については、前年比102.9%となった。国内自社企画（フリー型商品）では、沖縄方面、テーマパーク商品の販売は好調も、他方面の宿泊旅行が伸び悩み、前年比75.8%となった。クラブツーリズム国内（添乗員付商品）では、12月上旬まで紅葉の商品が堅調に推移し、前年比111.2%となった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比98.2%となった。

2. 海外旅行

海外団体については、職場旅行の取扱いが増加するも、前年に開催されたイベントの大型団体の取扱いがなくなったため、前年比59.3%となった。学生団体は修学旅行の取扱いが増加し、前年比113.8%となった。この結果、海外団体旅行合計では前年比89.6%となった。

海外企画旅行については、前年比127.5%となった。クラブツーリズム海外（添乗員付商品）は、エジプトやヨーロッパ方面が好調に推移し、前年比128.0%となった。以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比106.2%となった。

3. 訪日旅行

特定市場における国際情勢の影響もあり、訪日個人旅行者向けオンラインサイトでの予約は伸び悩んだものの、スポーツイベント関連の団体旅行の取扱いがあり、前年108.1%となった。

以上